



# スーパーグローバル大学(SGU) ロジックモデル (東京工業大学)

日本の東工大から  
世界のTokyo Techへ

インプット	アクティビティ	アウトプット	初期アウトカム	中・長期アウトカム	インパクト	
<b>SGU予算</b>  <b>物品費</b> ・講義室整備 ・消耗品費  <b>人件費</b> ・UEA ・プログラムコーディネーター ・事務支援員 ・翻訳者 ・看護師  <b>謝金</b> ・講師謝金等  <b>旅費</b> ・海外調査旅費 ・学生引率旅費 ・国内旅費 ・外部有識者招聘旅費  <b>その他</b> ・印刷製本費 ・研修費 ・ブース出展費用 ・翻訳環境整備 ・試験実施費用 ・広告宣伝費等	・TokyoTechアドバイザーボード実施によるガバナンスの継続的改善 ・IR機能の強化 ・海外大学ガバナンス・マネジメント等の事例調査 ・学長裁量スペース、学長裁量経費の増加 ・部局長の学長指名、教員人事全学管理 ・レピュテーション向上の方策	戦略構想の企画立案  一元的意思決定のための組織体制構築	世界水準の大学経営実現のためのガバナンス体制の実現  ・予算、スペース、人事等の体制整備 ・外国人受入体制の充実 ・学長主導の大学マネジメント体制 ・一元的意思決定の醸成 ・外部資金・寄付の獲得 ・事務職員等の高度化	世界水準・国際通用性のある大学組織に変化  <b>Tokyo Tech Qualityの深化と浸透</b>  ・世界水準の大学の経営 ・教育・研究環境の世界水準化 補助金終了後の自主化  ・教職員の国際通用性向上  ・教職員・学生の多様化・流動化 ・日本人学生のグローバル化	知と人材の還流を担うハブである「世界のTokyo Tech」として、  ・高い教養と専門性を備え、グローバルに活躍できる優秀な人材の輩出 ・未来を切り開く知識や技術を創成する研究開発の実施・先導	
	・クラウドファンディングの実施、外部資金の獲得、同窓会との連携強化による寄附活動やネットワーク構築	構想実現のための財務基盤強化	職員人材の高度化	<b>Student-Centered, 国際通用性のある教育研究システムの構築</b>  ・教育研究組織改組 ・教育改革による国際通用性のある教育システム ・授業の英語化促進 ・外国人学生が学びやすい環境整備 ・学生のモビリティ向上、多様化・流動化 ・外国人教職員の働きやすい環境整備	<b>SGUの成果普及</b>	科学技術イノベーションによる国際社会の持続可能な発展と人類が心身ともに豊かとなる社会の実現
	・語学研修等	外国人留学生の増加 語学力基準を満たす日本人学生の増加 日本人学生の海外留学増加	教職員の意識改革			
	<b>運営費交付金等</b> (基盤的経費) ・物品費(通信・ネット環境整備) ・人件費(教職員給与)	・海外大学・大学リーグとの連携強化 ・TokyoTechANNEXの開設・活用 ・プレミアトラック	外国人教員の増加			
・FD研修 ・博士研究員制度 ・学生向けセミナー		外国語のみで卒業できるコースの増加	外国人教員の増加			
・外国語での情報提供 ・住環境、生活体制のサポート ・外国語での広報 ・英文化支援チーム		外国語のみで卒業できるコースの増加	外国人教員の増加			

**インパクト達成に向けた他の政策**

- ・世界水準での大学マネジメントのための人材育成制度、キャリアパス構築
- ・寄附活動の活性化や同窓会との連携強化による人的ネットワーク拡大などによる大学経営の好循環
- ・社会人教育・アントレプレナー人材育成の推進
- ・重点領域や複合領域の教育研究推進
- ・国際共同研究の拡大・定着